

## 県民あんしん共同太陽光発電事業 設置施設 担当者の声

環境にやさしいエネルギーを  
きっかけに、地域に開かれた  
施設を目指して

社会福祉法人 健翔会

麦の穂（障害福祉サービス事業所）

行田市

太陽光発電設備等の設置日 2021年10月



Q 施設の概要を教えてください。

A 当施設は、2007年4月開所の生活介護事業所です。定員は20名ですが、現在22名の方と契約し、入浴、排泄、食事の介助等を行うとともに、創作的活動と生産活動の機会を提供しています。

Q 県民あんしん共同太陽光発電事業に応募したきっかけを教えてください。

A 太陽光発電には以前から興味がありましたが、近年は売電価格が下がっているため投資回収が難しいとの判断から法人として取り組めずにいました。県から補助事業の案内があり、再度検討したところ、10年以内に投資回収できることがわかり応募することにしました。地域のために役に立てるというのがかっこいい！普段、地域の方との交流がないので、この事業がいいチャンスになると思いました。



渡辺 真一 統括マネージャー

Q これから太陽光発電設備と蓄電池をどのように活用されていきますか。

A 太陽光で発電した電気は、まず、災害が起きた時のために蓄電するようにしています。蓄電されていれば、自家消費し、余った分は売電します。

災害時には、地域の方に施設に来てもらい、太陽光で発電した電気を提供します。平常時の訓練を含め、施設に来てもらうことで関われるきっかけになればと思っています。

Q 太陽光発電設備や蓄電池を設置することに対して、職員の反応は怎么样了か。

A 職員から不安な意見はありませんでした。地域の方が来てくれることがうれしいという反応でした。

また、施設に設備を導入したことで、職員も効果を実感し、実際に自宅に導入した職員もいます。

Q 設置を考えている施設の方へメッセージがあればお願いします。

A 当施設では、補助金を使っても設備の投資回収に10年くらいかかるかな、と思っていましたが、計算してみると8年くらいで回収できることがわかりました。数字で自分が納得できれば、設置について上司を説得できると思います。また、説得できる事業だと思っています。

今後は、環境にやさしい施設ということもアピールしていきたいと思っています。



太陽光パネル（補助対象設備）



蓄電池（補助対象設備）